

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	E-NE CREATE北新横浜		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ABA視点を取り入れたタスク表やスケジュール表の可視化により、主体的に取り組む環境づくりが作れている。	ABA原理に基づく独自のタスク表の活用や、個々のスケジュールリングを可視化し、子どもたちにとって見通しの持てる支援の実施。	支援水準の維持・向上させていくため、職員全体の支援スキルの均一化が重要となる。職員への依存なく、同様の質で支援提供できるように研修やOJTの体系化を進め、支援を「揃える」ことを意識して取り組む。
2	職員間での事前打ち合わせや支援後の振り返る、記録の今日共有により日々、支援内容の改善が継続的に行われている。	日々、児童の様子に応じた部屋分けや個別スペースの確保等、環境面の柔軟な対応が行われている。	生活スタイルの情報収集を行い、支援の留意点や子どもの過ごし方等を詳細にまとめたシートを作成し、可視化する事で支援統一に努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携や外部交流は十分といえず、課題が浮き彫りとなった。	日常業務における支援対応の取り組みが優先される中、外部連携に割ける時間や人員が限られている事が考えられる。	地域交流に関しては、無理のない形で小規模な活動から段階的に実施する事を検討。
2	保護者同士の交流機会や家族支援の取り組みが不足しており、家族支援の側面において改善の余地がある。	家族支援に関する取り組みについて、実施目的や具体的な内容、担当の役割などが十分に整理・明確化されておらず、定着していない事が要因。	ペアレントトレーニングについて所内で情報収集(勉強)し、ご家族様ニーズに沿った適切な支援内容を整理していく。
3			